

OECEM・自然共生サイトに関する社叢学会の取組み

社叢学会副理事長・奈良佐保短期大学教授（副学長） 前迫 ゆり

人と自然が紡ぐ 社叢の意義とは

新緑がまぶしい五月の候、社叢あるいは参道付近の社叢がよりいっそう輝きを増してきました。西日本でも多くみられるのは、地域の自然環境を反映してシイ・カシ林、河川周辺ではエノキ・ムクノキ林が成立する社叢。シイ・カシ類の雄花や新葉は、社叢の彩りを深い緑から黄金色へと変化させます。

東日本で多くみられるのは、落葉広葉樹のケヤキ林やブナ林、あるいは針葉樹のスギ・ヒノキ林の社叢。海岸のクロマツ林や内陸部のアカマツ林の社叢でも雄花・雌花について、新枝がぐんぐんと伸び、境内は躍動感に溢れます。春から初夏にかけて、植物も動物も活潑に動き、日本各地の社叢は美しく、多様な生命を育んでゐるのです。

社叢の意義について、「かつて日本列島に住みつた人々が『神々の森』を創ったのは、厳しく、しかし美しいこの日本の自然を、ただ畏怖し、あるいは制御するだけでなく、積極的に共生しようと考えたからであった。そういう日本人の思想のシンボルとなり、かつ、

行動の結節点となったものが、以後の社叢であり、そのなかには変わらぬ日本の自然が生きて続けている（社叢学会ウェブサイトに掲載の「社叢」とあるように、社叢は人と自然が紡いだ共生の賜ともいえます。令和六年発行の宗教年鑑によると、神社（神道系）の数は八万五千六百九十九社。すべての神社に社叢が成立

「生物多様性」を 保全する取組み

が位置づけられました。令和三十二年には自然と共生する社会を実現するといふ目標が掲げられてゐます。その実現のために、環境省では保護地域以外の場所でも生物多様性保全に資する地域「OECEM」登録等の推進を図らうと民間の取組み等によって生物多様性が図られてゐる地域を「自然共生サイト」として認定する制度の運用を令和五年度

からおこなつてゐます。筆者らは社叢学会を中心とする研究プロジェクトを設置し、令和六年に自然共生サイトとして、いくつかの社叢を申請しました。この経緯については、令和六年に発行された「社叢学研究二十三号」に掲載しましたが、本稿ではこの申請の概要について御紹介したいと思います。

なほ令和七年四月から、自然共生サイトに関する新法「地域生物多様性増進法」が施行されました。この制度の下、現在、いくつかの社叢の申請準備をしてゐるところです。

自然共生サイト 認定された社叢

環境省自然共生サイトの申請は令和五年に始まり、短期間に多くの応募がありました。里山、ビオトープなど、企業や地方自治体が管理する認定が進む一方、社叢の申請はほとんどなく、令和六年（前期）にはじめて城南宮（京都市、二・三）が採択されてゐます。申請書には生物多様性の詳細な内容（植物および動物）を問ふ記載も求められてゐるため、神社単独で申請するにはハードルが高く、関係自治体や社叢学会



図3 八柱神社

所の芸術的価値の高い庭、溪流「御手洗川」の滝の近くにある霊泉「亀の井」の水が酒の元水として造り水に混和して用ゐられてゐることなども評価されました。その一方、今後の課題としてはシカによる林床の生物多様性減少が顕著であるため、シカの対策がコジイ林の保全にとって重要になります。

生物多様性増進 今年四月に新法

促進等に関する法律」を略したもので、これまで同様「ネイチャーポジティブ」の実現をめざした法律です。社叢に、震災翌年の平成二十四年に訪れた際、印象的だったのは、社叢が流された境内にサカキ一対が植ゑられてゐたことです。同年、藤波祥子宮司の英断によつて、鎮守の森の植栽がスタート。この活動に全国から

八重垣神社の杜 申請に向け活動

令和六年度（後期）に宮城県の八重垣神社、三重県の専修寺庭園（長谷川理事）、兵庫県の紫金山公園吉志部神社（武田理事）について自然共生サイトの申請をいたしました。申請の背景と趣旨を御紹介します。八重垣神社は東日本大震災で社殿と社叢のほとんどが津波によつて流されましたが、四百年生以上のクロマツ数本が生きて残りました（図4）。この



図4 八重垣神社の境内に新たに建てられた社殿と津波に流されずに残ったクロマツ①、令和四年の空中写真（出典・国土地理院）②



この社叢の生物多様性の資料および社叢のモニタリング調査などの活動計画などが申請書類には必要です。本社社から数百人先の海岸まで神輿を担ぐ「お天玉さん祭」などの文化的サービスも、生物多様性増進の重要な要素となります。本社社が、時間経過とともに地域の生物多様性の創出と育成につながり、祭事によつて人々が集ふコミュニティとして機能することを確信して「自然共生サイト」の申請書を作成してゐます。（片仮名の植物名は現代仮名遣ひの表記です）

自然のための世界目標：2030年までのネイチャーポジティブ

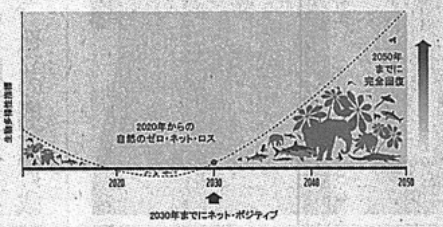


図1 出典 <https://naturepositive.org/> ネイチャーポジティブへの軌跡

図2 松尾大社